

漢語接尾辞「派」による派生語について
— 前接語が固有名詞の場合 —

Derivatives with the Chinese-derived Suffix “-ha” :
Focusing on Proper-Noun Prefixes

李 雪
LI XUE

漢語接尾辞「派」による派生語について —前接語が固有名詞の場合—

李 雪*

1. はじめに

人間の集団には様々なものがあるが、それらを命名する際に、「党」「団」「派」などの接尾辞が用いられことがある。たとえば、「自民党・民主党」「少年団・医療団」「革新派・急進派」などである。

『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』¹で接尾辞「派」による派生語を調査したところ、「党」や「団」と比べて、より多様な派生語を生み出していることがわかった。たとえば、次に示すように、「派」は名詞に加えて、動詞、形容詞、形容動詞、副詞とも結びつくことができる。

(1) 狩野派 かける派 可愛い派 真面目派 ゆっくり派²

「派」について、『日本国語大辞典第二版』(2001)では、次のように記述されている。

は【派】〔名〕

流儀や主義、思想、態度などを同じくすることによってできたそれぞれの集団・仲間。えだ。流派。また接尾語的に、それらの流れや仲間を表わす語の下に付いて、それが一つのまとまった組織・系統や傾向を持っていることを示すのにも用いる。

* 正法眼蔵 (1231-53) 仏道「あるいは南禅師の一派を称して、黄龍宗と称しきたれりといへども、その派、とほからずあやまりをしるべし」

* 文明本節用集 (室町中)「嗣レ派 ハヲツグ」

* 当世書生氣質 (1885-86)〈坪内逍遙〉七「世間見ずの坊ちゃん派 (ハ) だが」

* オールド・ノーズ・ブリッジの一片 (1968)〈島尾敏雄〉「どの派のものか見ただけでは見当がつかない」

(『日本国語大辞典第二版』2001)

* 岡山大学大学院社会文化科学研究科博士後期課程

¹ 本稿では、後述する『現代日本語書き言葉均衡コーパス』を「BCCWJ」と略記する。

² 本稿で取り上げる用例は、すべて『現代日本語書き言葉均衡コーパス』から収集したものである。

この記述によれば、「派」は、同じ流儀・主義・思想・態度などを共有する集団や仲間を示すことができる。また、流派の一つを示す際には「一派」が用いられる。さらに、「派」が単独で用いられる場合には、家系や流儀の継承を表すことがある。加えて、文学や思想の領域においては、接尾辞として使用されることも記述されている。

上述のとおり、接尾辞「派」は生産性が高く、多様な前接語と結びつき、政治・文化・生活など、さまざまな分野の派生語の形成に使用されている。本稿では、前接語を固有名詞に限定し、「派」がどのような前接語と結合して派生語を形成するか、その形成パターンを明らかにすることを目的とする。

2. 先行研究

接尾辞「派」に関する研究としては、大坂・笠（2014）および山下（2015）が挙げられる。

大坂・笠（2014）は、接尾辞「組」「派」「勢」を取り上げ、それぞれが名詞に後接して、人を集団化する表現の使い分けについて、「組」は全体集合を基準によりいくつかの下位集団に分割して捉えたときに現れるもので、対比的文脈に出現することが多い。「派」は集団の構成員の選好や考え方に対する名づけを行うときに現れるもので、これも複数の考え・好みを対比する文脈が多い。「勢」はこうした傾向がなく単に「～の人々」という括りを作るものと考えられる」（大坂・笠 2014：132）と述べている。

このように、「派」は構成員の選好や考え方に基づいて命名される傾向があるとされている。しかし、実際にBCCWJを調査したところ、必ずしも構成員の選好や考え方に基づいて命名されているとは言えない用例も見られた。以下に、そのような例を示す。

- (2) 現在は川崎市にスタジオを構えるひとみ座だが、活動し始めた昭和二十三年頃は鎌倉に在った。

「当時、演劇や文芸、絵画などの文化活動を行なってた『鎌倉派』というのがありまして、私が入る少し以前から人形劇を始めてた。

(BCCWJ:PB37_00013『夢みるエゴイストたち』『「今」を生きる十七人の肖像」南 千代(著) 2003)

人形劇の一集団が「鎌倉派」と呼ばれるのは、昭和二十三年頃に「鎌倉」という町で活動を開始したことに由来する。この用例においては、構成員の選好や考え方を示す意味合いは含まれていない。単にその集団の活動拠点である地名を基準として命名されたものである。このように、「派」は構成員の思想や嗜好に基づくだけでなく、地名など他の要素を根拠とする命名にも用いられることがある。

接尾辞「派」による派生語の形成について考察したものとして、山下（2015）がある。山下（2015）は、BCCWJを用いて、「〇〇系」「〇〇派」といった人物を表す派生語を対象とし、その派生語の

形成と比喻表現との関係、さらには意味の多義性や拡張について検討している。山下 (2015) は、比喻表現の観点から派生語の形成を分析し、接尾辞「系」「派」によって形成される語は、いずれもメトニミー（換喩）またはメタファー（隠喩）によって説明可能であると述べている。たとえば、「シャワー派」は「シャワーを浴びる」という行為を参照点として人を表す語であり、同一認知領域内のメトニミーとされる。一方、「ハト派」「タカ派」は、それぞれが象徴する平和・穏健や強硬・攻撃性といったイメージに基づき人物を表現するものであり、これはメタファーにあたる。中でも、メトニミーによる派生語の形成が特に生産的であることが指摘されている。

山下 (2015) は、派生語の形成において、何が焦点化され、どのような比喻表現となるかを整理した上で、接尾辞「系」「派」によって形成される人物を表す語の意味タイプを以下のように分類している。

- (a) 人や集団が過去において、あるいは習慣的にある行動や行為をする特徴や傾向があることを表す。
- (b) 人や集団の状況や性質の傾向を表す。
- (c) 人や集団の嗜好や愛好の対象を表す。
- (d) 人や集団が帰属する国、地域、組織等を表す。
- (e) 人や集団の思考内容や発話の傾向を表す。

(山下2015：120)

(a) の前接語は、動作や運動を表す名詞で、「する」を付けて動詞化できるものが多く、「アピール派」「実家暮らし派」「起業派」などが該当する。(b) では、擬態語や形容詞・形容動詞の語幹に相当する語が用いられ、「アクティブ派」「ゆっくり派」「革新派」などがある。(c) には、普通名詞・固有名詞の両方が含まれ、「室内派」「両面テープ派」「マック派」「三菱派」「トヨタ派」などが挙げられる。(d) も同様に、普通名詞および固有名詞が用いられ、「市民派」「田中派」などがある。(e) の前接語は、思考内容や状態などを含む句や文が用いられ、「万事ゆっくり派」「老後の田舎暮らし準備派」「野球放送なくなれ派」などが例として示されている。

山下 (2015) の研究は、主に派生語の形成に焦点を当て、前接語の分類や、何を参照点とし、どのような比喻表現によって派生語が形成されるかを詳述している。しかしながら、「派」の派生語が実際にどのような前接語と結合し、どのような意味を担う語が形成されているのかについては、十分に考察されていなかった。たとえば、(c) および (d) の分類に該当する「マック派」や「田中派」などは、「人や集団の嗜好・愛好の対象」や「帰属先」を表すが、これらの意味と前接語の種類との対応関係については明確に示されていない。つまり、どのような前接語が、いかなる意味領域の派生語を形成するかという具体的なパターンには踏み込んでいない。

以上の先行研究を踏まえた上で、本稿では、接尾辞「派」によって形成される派生語のうち、人名や地名といった固有名詞を前接語とする語に注目し、前接語と派生語の関係を中心に、その形成パターンをより包括的かつ体系的に記述することを目的とする。

3. 研究対象と事前調査

本稿では、BCCWJの検索フォームにおいて、書字形出現形を「派」、前後文脈の語数を200語に設定し、すべてのジャンルのデータを検索した。用例収集³にあたっては、括弧記号(“(”・“)”など)に囲まれた語についても、括弧内の表記を含めた形で対象とした。

なお、次に挙げるような、前接語が固有名詞を語基とする合成語のものは対象から除いた。

(3) 反(アンチ)～ 非～ 親～ 知～ 征～ 新(ネオ)～

例：反利休派、アンチ・シーザー派、非柳沢派、親日派、知韓派、征韓派、新カント派、ネオ・フロイト派など

一方、「現三塚派」「元葛飾派」「旧福田派」「急進フス派」「穏健フス派」などは、「～派」という派生語を基にした合成語なので、対象に含めた。

以上の基準に基づき、固有名詞に該当する用例は延べ1,482例で、異なり語数は464語であった。まずは、用例数の多い順に上位50語を抽出し、その結果を表1に示す。

表1 固有名詞の用例における用例数が多い順で前50例

前接語	語数	前接語	語数	前接語	語数	前接語	語数	前接語	語数
橋本	78	中曽根	18	池田	11	三塚	9	豊山	8
田中	64	福田	18	塚本	11	土佐	9	堀内	8
フス	54	白樺	16	ボル・ポト	10	ケインズ	8	ジャコバン	7
本願寺	46	安倍	14	一橋	10	サン・シモン	8	パプテスト	7
大谷	41	ネストリウス	13	講座	10	スバル	8	ベネディクト	7
狩野	40	宮沢	13	小渕	10	伊東	8	アララギ	6
竹下	40	労農	13	渡辺	10	羽田	8	エピスコバル	6
森	23	ユング	12	ワルド	9	高村	8	カトリック	6
亀井	21	中川	12	英吉利	9	佐藤	8	カルヴァン	6
妙心寺	19	ルター	11	河本	9	山崎	8	キャンニング	6

前接語の出現頻度を調査したところ、一度しか出現しない語が273語にのぼり、全体の過半数を

³ 翻訳に由来する用例951例については、分析対象から除外した。

占めていた。上位10語の中には、「橋本」「田中」「フス」「狩野」「竹下」「森」「亀井」といった人名が7語、「本願寺」「妙心寺」といった施設が2語、「大谷」という地名が1語含まれていた。また、「英吉利」、「白樺」⁴、「ジャコバン」⁵など、国名、作品名、政治集団を表す前接語も確認された。

以上の結果を踏まえ、固有名詞に該当する前接語が、次の5種類に分類できる。異なり語数および延べ語数を集計した結果を表2に示す。

人名：特定の個人を指す用例⁶（楊岐派、狩野派、ラバニ派、竹下派、愛ふみ派など）

地名：特定の地域や都市、国家を指す用例（比叡山派、英吉利派、東京派、満州派など）

組織名：協会、施設、企業などを指す用例（三菱派、ANA派、カトリック派など）

作品名：古典、雑誌、文学誌などを指す用例（古今派、アララギ派、白樺派、浪漫派など）

商品名：食物、製品、システムなどを指す用例（Dr Pepper派、iPod、マック派など）

表2 BCCWJにおける前接語別の異なり語数と延べ語数

前接語の分類	異なり語数（割合） ⁷	延べ語数
人名	312（29.91％）	1043
地名	64（37.87％）	169
組織名	63（35.00％）	180
作品名	16（20.51％）	78
商品名	11（91.17％）	12

表2から、接尾辞「派」の前接語として最も多く見られたのは人名であり、延べ語数・異なり語数ともに他の分類を大きく上回り、全体の約7割を占めている。これに次いで、地名と組織名が続く。作品名と商品名の用例は比較的少数である。

一方で、語の多様性という観点から見ると、商品名に分類される語は11語中12例と、ほとんどが一度しか使用されておらず、他分類に比べて使用頻度が極めて限定的である。すなわち、商品名を前接語とする派生語は、定着性に乏しく、ごく限られた文脈においてのみ用いられていることが分かる。

⁴ 『日本大百科全書』によると、「白樺」は「同人雑誌。1910年（明治43）4月創刊、1923年（大正12）8月終刊。全160冊。第二次世界大戦前の同人雑誌のなかで、最長、最大の力を発揮したもの」と記されている。

⁵ 『日本大百科全書』によれば、「ジャコバン派」の語釈において、ジャコバン・クラブは「革命期最大の政治結社で、最初、1789年三部会招集前後にバルサイユで結成されたブルトン・クラブを母体とする」と説明されている。

⁶ 綽名や号などによる名称も含まれる。たとえば、「桂園派」の「桂園」は、江戸時代後期の歌人・香川景樹の号に由来する。このような用例も人物名として分類する。

⁷ 前接語の分類ごとに、当該分類に含まれる異なり語数が延べ語数に占める割合を示す。この割合は、各分類における語彙の多様性を表す指標となる。

4. 前接語と派生語の関係の分析

前節では、前接語を「人名」「地名」「組織名」「作品名」「商品名」の5つに分類した。しかしながら、同じ分類に属する前接語であっても、派生語との関係において異なる形成パターンが見られる場合がある。以下に、そのような用例を示し、前接語と派生語との意味的關係について考察する。

- (4) 橋本龍太郎行革担当相を擁立した橋本派の影響力が強いとみられた地域で小泉氏が軒並み勝利を収めたためだ。 (BCCWJ:PN1m_00002『高知新聞』『朝刊』高知新聞社(著)2001)
- (5) 初期の仮面ライダーファンの皆様、本郷猛派でしたか？一文字隼人派でしたか？ (BCCWJ:OC01_10392『Yahoo!知恵袋』2005)

「橋本龍太郎行革担当相を擁立した橋本派」とあることから、「橋本派」は橋本龍太郎をリーダーとする集団であると考えられる。一方、「本郷猛派でしたか？一文字隼人派でしたか？」という問いは、『仮面ライダー』の登場人物である本郷猛および一文字隼人のいずれを支持していたかを仮面ライダーファンに対して尋ねるものである。

このように、いずれも人名を前接語とする用例ではあるが、前接語と派生語（その集団）との関係には違いが見られる。「橋本派」では前接語がその集団のリーダーであるのに対し、「本郷猛派」「一文字隼人派」では、前接語はその集団の成員ではなく、成員が支持・愛好する対象という関係にある。つまり、前接語と集団の関係が異なっている。本節では、このような前接語と集団との関係性の違いに着目し、用例を整理していく。

4. 1 人名が前接語の場合

人名を前接語とする派生語は、使用頻度が高く、以下の典型的な用例を示し、その特徴を整理する。

- (6) 大方丈は、天正年間の御所清涼殿を移築したもので、座敷の襖絵には桃山時代を代表する狩野派の画家達によって花鳥画や人物が描かれている。 (BCCWJ:LBd2_00018『京都古道物語』中田 昭(著)1989)
- (7) この十月の時点における天下の形勢は、柴田勝家派（信孝、滝川一益、前田利家、佐久間盛政、佐々成政、金森長近）と羽柴秀吉派（信雄、丹羽長秀、池田恒興、堀秀政）に二分され、そのうえ勝家の背後に上杉景勝が、秀吉の背後には毛利輝元のいわば第三勢力がひかえていた。 (BCCWJ:LBi1_00037『武士行動の美学』小澤 富夫(著)1994)
- (8) 白い巨塔見てましたか？私は財前派なんですけど、同じように財前派の方いますか？その理由は？ (BCCWJ:OC01_00881『Yahoo!知恵袋』2005)

「狩野派」は、絵画流派を開いた狩野正信を祖とし、その様式や理念を受け継ぐ画家集団を指している。「柴田勝家派」「羽柴秀吉派」は、それぞれの人物を中心とした政治的勢力を表し、「財前派」はドラマの登場人物である「財前」に好意や共感を持つ人々によって形成される集団を示すものである。いずれも人名が前接語となっているが、それが指し示す関係は、創始者、指導者、あるいは愛好の対象といった具合に異なっている。

「狩野派」は、狩野正信という創始者の名を前接語とし、日本絵画の一派を代表する語として用いられる。時間が経過しても、代表的な人物の名を冠することで、その流派を簡潔に表現できる。こうした用例は、大蔵流八右衛門派（狂言）、一刀流忠也派（剣道）、根岸派（短歌）など、芸術分野に多く見られる。

「柴田勝家派」「羽柴秀吉派」は、争いや政治的対立を背景に形成される用例である。集団が複数の勢力に分かれる際、代表的な指導者の名を用いて各派を区別する。こうした用例は、政党内の派閥（自民党橋本派）、歴史的勢力（大友皇子派）、思想や学問の系譜（ロジャース派）など、主に対立構造を持つ文脈で使われることが多い。

一方、「財前派」は、ドラマのキャラクターに共感や支持を寄せる立場を表すもので、実際の組織的な所属関係はない。単にある人物への好意・関心を示す語である。このタイプの用例は、愛ふみ派（歌手）やサンマ派（お笑いタレント）など、テレビ番組等のファンの間に広く見られる。

4. 2 地名が前接語の場合

地名が前接語として用いられる場合、その語は派生語が表す集団の発祥地や活動の拠点、あるいは支持・選好の対象という関係にある。

- (9) 十九世紀半ば、パリの南東フォンテーヌブローの森近くのバルビゾン村で、都会の喧騒を離れ、おだやかな自然や農民の生活を描いた「バルビゾン派」の画家たち。

(BCCWJ:PM21_01067『Weeklyぴあ』実著者不明/白坂 ゆり (著) 2002)

- (10) 当時の叡山は、僧兵を組織して政治的横暴をなし、また山門（比叡山派）と寺門（三井寺派）とに分かれて派閥争いも絶えず、…

(BCCWJ:LBd1_00016『永平寺物語』『名刹歳時記』井上 雪 (著) / 門馬 幸夫 (著) 1989)

- (11) 企業のヨット部は、葉山派と江の島派に分類され、葉山の方は商社や損保のヨットが多く、ミーハーなOLが大勢来るので、まだマシと言えますが、江の島はメーカーのヨット部ばかりなので、雰囲気が暗く、評価できません。

(BCCWJ:OB2X_00294『見栄講座』『ミーハーのための戦略と展開』馬場 康夫 (著) 1983)

- (12) 一概には言えないけど、UK ロックは（当たり前だけど）US にはない、不思議なメロディーラインや雰囲気があって、US みたいにとつきやすくはないから好き嫌いがあると思う。

でも最近あたしは US 派 だったんだけど、UK の魅力にハマリつつあるよ。

(BCCWJ:OC01_03012 『Yahoo! 知恵袋』 2005)

「バルビゾン派」は、画家たちが創作活動を行ったフランスのバルビゾン村に由来し、集団の発祥地がその名称となっている。一方、「比叡山派」は、宗教勢力が拠点とした地域名を用いて、対立関係を表す用例である。また、「葉山派」「江の島派」や「US 派」「UK 派」は、特定の地域への好みや好みの対象となる国・地域の名称を通じて、支持する対象を示している。すなわち、地名を前接語とする派生語には、集団の発源地・争いの所在地・支持の対象を示している。

4. 3 組織名が前接語の場合

組織名を前接語とする派生語では、その組織を支持する集団を表す派生語を形成する。

- (13) 学校内における教職員同士の関係についても、権力追従の「校長派」と自主性を大事にする「日教組派」の対立を軸に討論を進めるという形で、かなり現実味のある展開となっており、実態にせまるという姿勢を感じることができました。

(BCCWJ:PB33_00489 『事務の改革を通した学校活性化の実践』 高妻 三郎 (著) 2003)

- (14) 今回は日本橋三井本館です…ぬおおこのファサード…重厚感がありますねえ♪角度を変えてもう一枚…三井の歴史みたいなモンがひしひしと迫ってきますねえ♪ところで皆さんは…財閥山手線ゲーム？をやると（そんなんあるん??）三井派ですかあ？三菱派ですかあ？
^^？

(BCCWJ:OY14_37361 『Yahoo! ブログ』 2008)

- (15) 私は神戸の皇蘭の豚まんが好きですが、皆さんのおすすめの豚まん、中華まんを教えてください。私も蓬莱派（^__-^）

(BCCWJ:OC08_03591 『Yahoo! 知恵袋』 2005)

最初の例では、学校の教員を「校長」を支持するグループと「日教組」を支持するグループに分類している。「三井派・三菱派」「蓬莱派」という派生語も、前接語が表す組織を支持する集団を表している。

4. 4 作品名が前接語の場合

作品名を前接語とする派生語は、その作品を理念的・精神的な基盤として活動している集団を表す。

- (16) これは確か、いわゆる講座派と労農派の日本資本主義論争では労農派の主張だったはずだ、と僕は古い記憶のなかから、昔読んだ知識の断片をとりだしていた。

(BCCWJ:LBf3_00068 『幻景のロシア』 「ペレストロイカの底流」 清水 孝純 (著) 1991)

- (17) 平淡な写実を好む者あり、夢と壮大のロマンを愛する者あり、万葉派あり、古今派あり、文学は人間を楽しませ向上せしめるものでなければならぬと力説する人あれば、…

(BCCWJ:PB49_00155 『山田風太郎疾風迅雷書簡集』 「昭和14年～昭和20年」 山田 風太郎 (著) 2004)

「講座派」「労農派」は、日本資本主義論争において、それぞれ『日本資本主義発達史講座』と雑誌『労農』を理論の拠点とする立場の人々を指している。一方、「万葉派」「古今派」は、歌作の規範として『万葉集』『古今集』を理想とする集団を表している。

4. 5 商品名が前接語の場合

商品名が前接語となる派生語は、その製品を愛用する人たちを表す。

- (18) あなたはクレラップ派ですか？サランラップ派ですか？それともその他なんたらラップ派ですか？自分はCMが面白いからクレラップ派です。

(BCCWJ:OC08_06653 『Yahoo!知恵袋』 2005)

- (19) 私は、Nintendo - DSとPSP、ソフトに関しては、DS派です。

(BCCWJ:OC01_05863 『Yahoo!知恵袋』 2005)

「クレラップ派」「サランラップ派」は、食品用ラップの製品名を前接語とし、その製品を愛用している人々を指している。同様に、「DS派」は、家庭用ゲームのソフトで「DS」を愛好する人々を表している。

4. 6 まとめ

以上、人名・地名・組織名・作品名・商品名といった前接語の種類ごとに、接尾辞「派」によって形成される派生語が指す集団が前節語に対してどのような関係をもつかを観察してきた。以下、それらの観察結果をまとめておく。

結論を先取りすれば、接尾辞「派」が固有名詞に付いて形成される派生語が表す集団を命名する方法は、一般化すれば、集団が支持する対象に注目するか、集団の存立基盤となるある要素に注目するかの、いずれかである。これまでに挙げた具体例を分類すると、表3ようになる。

表3 派生語に対する前接語の意味関係の類型

	前接語＝集団が支持する対象	前接語＝集団の存立基盤
人名	財前派、里見派、本郷猛派・一文字隼人派、松井派・イチロー派、中島みゆき派、松田クン派	臨済派、黄龍派・楊岐派、狩野派・土佐派、柳沢派、本居派、板垣派・大隈派、柴田勝家派・羽柴秀吉派、三木派・福田派、堀内派・亀井派・山崎派、吉田派・鳩山派、フロイト派・クライン派、ロジャース派
地名	葉山派・江の島派、US 派	比叡山派、熊野派・大峰派・羽黒派、満州派、鎌倉派、パリ派、バルビゾン派
組織名	三井派・三菱派、日教組派、蓬萊派、ホンダ派・トヨタ派、ナイキ派、ANA 派、SHARP 派	カトリック派、ジャコバン派、革共同派
作品名	マガジン派・ジャンプ派	講座派・労農派、万葉派・古今派、浪漫派、明星派、白樺派、スバル派、アララギ派
商品名	クレラップ派・サランラップ派、ウインドウズ派・マック派・リナックス派、Yahoo! 派・Google 派、DS 派、iPod 派、Dr Pepper 派、Outlook Express 派	

前接語が集団の指示する対象であるタイプは、前接語に示される特定の人物・場所・組織・作品・商品を支持（好意、共感、選好、愛着等を含む）している集団を派生語が表すものである。たとえば、ドラマのキャラクターや歌手に対する好感、地域や国に対する好意的な感覚、企業やブランドへの支持、作品に込められた作風や思想への傾倒、さらには商品に対する愛着といったことが命名の動機付けになっている。人が支持する対象であればどのような前接語からも作ることができるので、このタイプの派生語は意味関係が単純で、生産性が高いと言えるだろう。

一方、前接語が集団の存立基盤であるタイプは、集団がどのように成立し、何を理念的な基盤や精神的な支柱としてその集団が存立しているかということを前接語が示すものである。たとえば、人名の場合は「創始者」や「指導者」、地名であれば「発祥地」や「所在地」、組織名では「拠点」や「帰属先」、作品名では集団の活動の指針や象徴となる「重要作品」が前接語となる。このタイプの派生語は史実や理念に基づいて作られるので、生産性は低いが、派生語自体が固有名詞となつて事典に掲載されることも多い。

5. 同位語について

固有名詞を語基とする場合に限らないのだが、「～派」という派生語の重要な特徴として、必ず対立する同意語が存在するということがある。上に挙げた例の中にも同位語が同じ文脈に出てきているものが多数見られた。

前接語が集団が支持する対象の場合は、上位語にあたる何らかのカテゴリーが想定され、それに

属する複数の主要メンバーが互いに同位語となり対立する。

(20) 例えば、コンピュータの話をしたとしましょう。ウインドウズ派かマック派か。あるいはリナックス派か、NECの九十八にこだわっている人なのか。

(BCCWJ:LBn3_00069 『「県民性」交際術』『出身地でわかる人付き合いのコツ』千石 涼太郎 (著) 1999)

(21) cherry colaとDr Pepper味は似てるけどあたしはDr Pepper派 (^ω^) !

(BCCWJ:OY14_52799 『Yahoo! ブログ』2008)

「ウインドウズ派」「マック派」「リナックス派」の前接語はコンピュータの「オペレーティングシステム」というカテゴリーに属する主要メンバーである。また、「cherry cola派」「Dr Pepper派」は、いずれも炭酸飲料というカテゴリーに属する主要メンバーである。

他方、前接語が集団の存立基盤である場合は、集団の存立基盤が何であるかによってグループに分かれ、同位語の関係が成立することになる。次の用例を見てみよう。

(22) ただし、人々がさりげなく派閥を口にする場合、それはまぎれもなく自民党の派閥を指している。宮沢派、小渕派、羽田派、渡辺派、三塚、河本派、加藤グループの六派閥一グループのことである。(BCCWJ:LBh3_00129 『裏から見た自民党派閥』本澤 二郎 (著) 1993)

自民党という政党内では、派閥同士の間で対立や競争が発生する。政治思想や政策方針、あるいは利益配分の単位によって複数のグループに分かれている。それぞれ、リーダーの名前を冠した「宮沢派」「小渕派」「羽田派」「渡辺派」などと呼ばれる。この場合も、上位のカテゴリーが存在し、そのメンバーとして派生語が同位語の関係で対立している。上の例で言えば、「自民党」というカテゴリーのメンバーとして各派閥を表す派生語が同位語として対立している。

6. おわりに

本稿では、接尾辞「派」による派生語は人の「集団」を命名するものであるという捉え方をしてきた。しかし、そのような捉え方は不正確かもしれない。なぜならば、「ウインドウズ派」や「マック派」といった人の集団は実は存在していないからである。「ウインドウズ派」や「マック派」は、その人がいずれのタイプのPCを愛用しているかという見方で人を分類しているのであって、それぞれが集団として活動している事実はない。一方、「狩野派」や「安倍派」などの集団の存在基盤を前接語とするタイプの派生語は、いかにも集団を表している。このような事実からも、集団が支持する対象を前接語とするタイプと団の存在基盤を前接語とするタイプに分けることの必要性が理解できるだろう。その意味では、集団が指示する対象を前接語とするタイプは、人の「集団」を命

名したものではなく、人の「タイプ」を命名したものと言うべきかもしれない。

参考文献

- 大坂朋史・笠万裕美（2014）「集団を表す接尾辞の新用法」『日本語の研究』第10巻4号（『国語学』通巻259号） pp.131-132. 日本語学会
- 山下喜代（2015）「漢語接尾辞「系・派」について－人物を表す派生語の分析を中心に－」『青山語文45』 pp.112-125. 青山学院大学
- 山梨正明（2004）『ことばの認知空間』 開拓社

辞書類

- 鎌田正・米山寅太郎（2011）『新漢語林 第二版』 大修館書店
- 小学館（1994）『日本大百科全書（ニッポニカ）』, JapanKnowledge Lib,
<https://japanknowledge.com/library/>（2025年8月29日アクセス）
- 日本国語大辞典第二版編集委員会編（2000-2002）『日本国語大辞典第二版』 小学館

使用コーパス

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 <https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>（2025年8月29日確認済み）